さんのう健康講座

前立腺がん・ロボット手術でできること
～ ミリ以下の膜を区別する ～

2000年に米国で初めて手術支援ロボットdaVinci®による前立腺手術が報告されて以来、世界におけるその手術件数、ロボットの導入台数は増加の一途を辿っています。当院では2015年にdaVinci®を導入以来、中島泌尿器科部長を中心に、多くの前立腺がん患者様の手術を行ってまいりました。
前立腺は、男性の骨盤の一番奥にある40ｇ程度の小さな臓器のため、その手術はロボットが広く導入されるまでは、難易度の高い手術でした。ロボット手術は10倍拡大のカメラにより、その正確さは従来までの開放手術とは全く比べものにはなりません。術中の出血量、がんを取りきる能力（断端陽性率）、機能温存能（排尿、勃起）すべての面でロボット手術の優位性は確立されたといっても過言ではありません。
本講座では、前立腺がんの根治治療（ロボット手術）や手術ロボットの素晴らしい動作など、ふんだんに動画を用いて詳しく説明します。

日時：2020年7月30日（木）　場所：山王病院 本館３階　山王ホール
時間：14：00～15：00（開場13：30）　定員30名 完全予約制 参加無料

小津 兆一郎（おづ・ちょういちろう）医師
山王病院 泌尿器科部長　国際医療福祉大学 臨床医学研究センター教授
専門：泌尿器科がん治療、ロボット支援手術

慶應義塾大学卒、医学博士（東京医科大学）
前国立病院機構東京医療センター
元東京医科大学泌尿器科学講座医局長・専任講師、元国家公務員共済組合連合会立川病院泌尿器科医長、元Memorial Sloan-Kettering Cancer Center, Research Fellow、元済生会神奈川県病院、元慶應義塾大学病院助教
日本泌尿器科学会認定指導医・泌尿器科専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、ロボット（da Vinci S/Si/Xi）手術認定医、日本ロボット外科学会国際A級認定医

泌尿器がん治療のスペシャリストで、膀胱全摘除術代用膀胱作成や前立腺がんの手術療法では日本でも屈指の症例数を誇ります。とりわけ、2007年にロボット手術認定医を米国でいち早く取得後以来、前立腺がんのロボット手術症例数は1500例以上を誇り、日本トップクラスです。また、近年では重粒子線を含む種々の放射線治療後再発前立腺がんの救済手術にも積極的に取り組んでいます。2015年に世界初例の重粒子線治療後救済手術の報告以来、救済手術症例数は日本でトップであり、この救済手術を求める患者様に全国からご来院いただいています。

～参加方法～　感染拡大防止のため、当日会場での聴講と後日Web視聴の２つの方法で行います。

■ 会場聴講：定員30名 完全予約制（定員になり次第締め切ります。当日定員に満たない場合はご入場いただけますが、感染拡大防止のため、定員を超えた場合は会場にはお入りいただけません。）
以下の事項を記載の上、FAX またはHPのお申込フォームのいずれかでお申込みください。
FAX：０３－３４０４－３６５２　（さんのう健康講座事務局宛て）

■ Web聴講：HPのお申込フォームからお申込みください。お申込みいただいた方に、会場撮影した映像を後日メールにて配信いたします。

申込フォームにアクセス⇒

※太枠内は必須項目です。

お名前（フリガナ）			参加人数	名　※最大2名まで
お電話		ご住所	〒	

医療法人財団　順和会　山王病院　〒107-0052　東京都港区赤坂8－10－16　TEL：03-3402-3151
診療受付時間：　8：30～11：30　13：00～16：30　（月～土）※各診療科・曜日によって異なる場合がございます。

2020.6.11